

胃X線検査を受けられる方へ

胃X線検査とは

この検査は造影剤(バリウム)を飲んで、胃・十二指腸の形や働き、粘膜の状態をみる検査です。バリウムと発泡剤という胃を膨らませる薬を飲んでいただき、体位変換しながら多方向から撮影を行います。

検査を受けられない方

胃X線検査は、安全に検査を行うために安全基準を設けています。



原則的に下記に該当する方はバリウム検査を受けられません。

- 妊娠中または妊娠の可能性がある方
- 体重が120kg以上の方
- 過去にバリウム、発泡剤、下剤で呼吸困難や発疹などアレルギー症状が出たことがある方
- 手術で胃を全てとっている方
- 腸閉塞・大腸憩室炎の既往がある方
- 心臓や脳などの手術後1年以内の方
- 腎臓病や心臓病などで水分制限・運動制限がある方
- お一人で立てない方や検査台の上で体位を変えることができない方
- 健診当日血圧が200/120mmHg以上の方



※消化管疾患など現在通院中のご病気のある方は、主治医にご相談し許可を得られた上で検査を受けてください。

※その他 当日の体調や問診により検査を受けられない場合がございます。

該当する方で検査をご希望される場合は、**083-972-4325**まで必ず**事前**にお申し出ください。



胃X線検査にともなう危険性の例

●腸閉塞・消化管穿孔

バリウムの排泄困難により腸閉塞や消化管穿孔などの重篤な合併症の危険があるため検査後はスムーズな排便を促す必要があります。検査後は下剤を飲んでいただきますので、お渡しする注意事項を必ずお守りください。

●バリウムの誤嚥

呼吸器疾患のある方は、バリウムの誤嚥により症状が悪化することがありますので、普段からむせやすい方、ご高齢の方などは誤嚥に注意してバリウムを飲むようにしてください。

安全に検査を行う為ご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。